

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	浦安市こども発達センター		
○保護者評価実施期間	令和7年12月9日		～ 令和7年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45 (回答者数)	40
○従業者評価実施期間	令和7年12月9日		～ 令和7年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	20 (回答者数)	20
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	定期的な面談を行い、子ども・保護者の意向を聞き取り、児童発達支援計画を作成しています。作成した計画に沿った支援を行っています。	グループとしてのねらいを立案し、個々の支援計画を日々のデイリープログラムに取り入れ、支援しています。支援開始前、終了後に必ず職員間で打ち合わせや振り返りを行い、支援につなげています。	多職種によるチームアプローチの充実を図ります。面談以外でも子どもの姿を保護者と共有し、支援につなげていきます。
2	児童発達支援ガイドラインに沿った様々な活動プログラムを取り入れています。	日々の子どもの様子を振り返り、子どもに合った活動を取り入れています。グループ間で連携をはかり、交流をしたり、様々な活動を取り入れたりしています。	グループ間での交流を行い、担当グループ以外の子どもを知り、支援の幅をひろげていきます。
3	子どもが安心感をもって通所できるよう、保護者が安心して通わせられるよう、支援しています。	連絡帳や電話、見学時など、子どもの様子を丁寧に伝え(成長やけが)、安心して通わせられるよう子どもの情報を共有しています。	保護者の方へのお知らせや活動内容などをわかりやすく伝えるアプリを導入する予定です。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境・体制整備の面で、生活空間について、施設面の老朽化や衛生面、物の収納へのご意見がありました。	施設の老朽化や生活空間にトイレ・手洗い場等の設備がない部屋や収納がない部屋があります。	清潔を保持していくために、清掃や整備をしていきます。心地よい空間になるために生活に必要なものや玩具の整理整頓を行っています。
2	「きょうだい同士の交流の機会について」、どちらともいえない・いいえ・わからないなどの意見が多くありました。	行事でのきょうだいの参加は可能となっておりますが、きょうだい向けのイベントは行っていません。	今後も家族通園の中で、きょうだい児の参加の機会を設けていきます。きょうだい児が交流できるプログラムを検討していきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	浦安市こども発達センター								
	公表日	年 月 日							
	利用児童数	48人 令和 7年 12月 9日 回収数 40							
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	38	2	0	0	0	廊下に物が置いてある。プレイルームなどのお部屋が沢山あり充実しています。粗大の部屋は広々として、活発に動き回れるので、本人もうれしそうです。	安全に活動が行える空間となるように、必要のない遊具を片づけるなど整理整頓を行っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	36	2	0	2	0	8人前後のグループに3人という設定は就学後の支援級・学校に近く安心でした。何度か子ども同士に着替えの入れ間違いや靴下を別のお子さんのをはいて帰ってきたがありました。少し改善を望みます。	職員配置としては適性の配置ですが、状況により対応が必要な場合は、安全に適切な支援が行えるよう職員の体制を整えていきます。お子さんの荷物等に関しては、職員間でチェックし、間違えないように努めます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	35	3	0	2	0	部屋の色分けなど分かりやすくなっていました。	視覚提示や構造化を行い、こどもにとってわかりやすい環境となるように努めています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	4	1	0	0	臭いに敏感な子なので水回りの老朽化が気になりました（最近は成長に伴い吐いたりしくくなりました）。清潔で過ごしやすいがトイレだけはリフォームをお願いします。老朽化は否めない。以前からトイレについての問題（老朽化や衛生面）があったと思いますが、単独通園になり、最近のトイレがどのようなになっているかわからないため、どちらともいえない、にしています。トイレがもう少し広くキレイになるといいなと思います。外の遊具をリニューアルしてほしいです（難しいとは思いますが…）	清潔で心地よい空間となるように、清掃や整理整頓を行っています。園庭の遊具に関しては、今年度遊具を増やしました。今後も安全チェックを行い、必要な遊具を検討していきます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	36	2	1	1	0	今年外に出る活動が多く、本人も楽しく過ごせて、親としても本当に嬉しかったです。診断名が付いていない特性「筋力の弱さ」等について、PT以外の先生（ST・OT）にもみていただけたとありがたいです。	こどもの特性を理解し、支援を提供できるよう今後も職員の質の向上に努めます。多職種でのチームアプローチを行えるように職員体制を検討していきます。
	6	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	39	1	0	0	0	家庭内で思っている事が反映されていてとても良かったです。過去に息子が英語の歌を多く歌っていることについて自宅では日本語の歌を増やしてほしいとのご発言があり、家庭環境への理解という点では、少し戸惑いを感じたことがありました。日頃の支援は、子どもの特性に寄り添った対応していただけており、満足しております。ただ、国際的な家族構成や異文化への配慮について、少し理解を深めていただける機会などもって頂けるとありがたいと感じました。	児童発達支援計画の作成にあたっては、保護者の意向を聞き取り、こどものアセスメントを行ったうえで作成するようにしています。こどもの意向については次年度より、記載していきます。面談等を通じて、家庭環境への理解も深めて、支援できるよう努めます。
	7	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	38	0	1	1	0		児童発達支援ガイドラインの項目に関しましては、児童発達支援計画の中で明記し、ご説明しています。具体的な支援内容に落とし込み、支援にあたるように努めています。
	8	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	3	0	0	0		支援前後に、グループ間での打ち合わせや振り返りを行い、児童発達支援計画に沿った支援を行うよう心がけています。
	9	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	4	1	2	0	ボールや公園遊び、園庭では野菜を作ったり、1年間とても工夫されました。集団活動がもう少しあると嬉しいです。はさみ・のり・折り紙など制作活動したいです。	グループごとに、こどもの様子や児童発達支援計画に合わせて活動プログラムを立案しています。また、見直しを行った、グループごとのプログラムであったり、お子さんに合わせて支援の仕方を工夫していきます。

	10	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	22	3	6	9	0	公園に行く時に少し交流できているものと思っています。 センターへ毎日通って来る子がいる中で、園訪問などしていただき、とても良かったです。 他の園や地域の子どもの交流を求めているので、わからないと思ったら。 今年度交流があることについては、まだ聞いていない気がします。	所属園のないお子さんを対象に、東野保育園との交流を後期に数回行っています。行ってみたいの振り返りをにじいろ通信でお知らせします。
保護者への説明等	11	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	40	0	0	0	0		契約時に行っています。
	12	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	40	0	0	0	0		面談を通して行っています。
	13	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	39	1	0	0	0	家族で参加や保護者会など、ありがたいです(単独になってからなかなか機会がないため)。	研修会や情報提供の機会等に関しては、必要な情報が得られるように、おたよりを配布してお知らせしています。
	14	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	39	1	0	0	0	連絡ノートだけでなく、補足でお電話いただく事も多く、とても感謝しています。	連絡ノート・電話・見学時など、お子さんの様子を共有させていただいています。
	15	定期的な、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	40	0	0	0	0	とても長くなってしまっても笑顔で聞いてくださり、感謝しています。 ちょっとした不安や相談など、いつもはなしを聞いていただけて助かっています。	面談や連絡ノート、見学時などで保護者からの相談について助言を行っています。必要なときは、定期的な面談以外にも、ご相談ください。
	16	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	37	3	0	0	0	アドバイスも沢山いただき、いつも心配していただけて感謝しています。	共感的な意識をもち、支援を行えるように努めています。
	17	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	31	4	1	4	0	今年も1年何回も土曜日に会を開いていただき、先生方が出勤して対応くださり他の保護者の方とお話できました！ありがとうございます。 きょうだい向けイベント…？親子通園のことでしょうか？ 保護者会の開催など保護者同士の交流の場、ありがとうございます！きょうだい向けは何かあるのでしょうか。 きょうだい我慢する場面が多く、成人したきょうだい児の話を聞く機会があれば参加したい。	平日や土曜日を利用しての懇談会や行事にお忙しい中、参加していただきありがとうございます。就労している保護者が多くなっているため、今後の実施(日程や早目の周知など)に関しては課題となっています。 きょうだい向けのイベントはなく、現在、家族通園の中できょうだいの参加を可能としています。
	18	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	37	2	0	1	0	土曜日に気持ちが辛くなり、一人でどうしたら良いか分からずセンターへ電話すると、土曜出勤の先生が対応してくれ、そのままセンターで話を対面で聞いていただいた事もあります。就学後同じように辛くなった時どうしたら良いのか？と思うくらい良くしていただきました。	保護者からの相談の申し入れがあったときは、早急に対応できるように体制を整えて、対応を行っています。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36	1	0	1	2		現在は、連絡ノートや電話、おたより等で行っています。次年度はアプリを導入する予定です。
	20	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	36	0	0	2	2	見学に向かう写真のファイルがあり、日々子ども達の様子を写真でも見れ、楽しみの一つでした。	今年度は、隔月で「にじいろ通信」を発行しました。自己評価の結果は、保護者の方に通知し、ホームページに掲載していきます。
21	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	3	0	0	2		個人情報の取り扱いについては、今後も十分注意を行っていきます。お子さんの荷物の入れ間違いなどに関しては、職員のチェック体制を整えていきます。	
非常時等の対応	22	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	36	1	0	1	2		バス乗車時の緊急対応マニュアル、感染症予防マニュアル、緊急避難マニュアルを作成し、訓練を実施しています。実施した内容は、「にじいろ通信」にて保護者に周知しています。
	23	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	37	0	0	1	2		月に1回の避難訓練、年に2回の防犯訓練、心肺蘇生法など応急処置などを実施しています。
	24	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	36	1	0	1	2		安全計画を作成し、にじいろ内に掲示してありますのでご確認ください。安全管理チェックリストや園庭チェック表を使用し、室内外の安全に努めています。
	25	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	35	0	0	3	2	ケガをした時点で連絡をいただき、連絡ノート、バスの送迎時など何重にも伝えていただき安心して子どもを返しておりました。 少しのケガでも電話やノートで報告してくださるので安心です。	頭部(首から上)の怪我や重大な事故等については、電話で直接ご報告しています。軽微な怪我については、連絡ノート等でお伝えすることもあります。事故が発生しないように安全面の配慮を行っています。

満足度	26	こどもは安心感をもって通所していますか。	38	0	0	0	2	親から離れる不安が少なく通えています。子どもだけではなく、親の安心感もとても大きいです。	安心して楽しみににじいろに通所できるように、支援していきます。お子さんの行き渋りが見られたときや、いつもと違う様子が見られたときには、ご相談ください。
	27	こどもは通所を楽しみにしていますか。	38	0	0	0	2	先生やお友達に会いたいとよく話しています。センターが大好きでセンターの先生方が大好きで前日の夜からワクワクして通いました。毎日ごきげんで、にじいろでやった歌を自宅でもうたったりして楽しんできてるなーというのがとてもよく伝わってきます！大満足です。いつもありがとうございます！	
	28	事業所の支援に満足していますか。	35	1	0	2	2	親子共に成長に繋がっていると感じます。とても満足しています。来年卒業したくないぐらい満足しています。	今後も支援の内容等の周知に努めていきます。

※未記入の設問については、『無回答』として集計しています。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	浦安市こども発達センター				公表日	年 月 日
	チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	18	2	0	大人と子どもの対数や部屋の大きさなど配慮し、グループ同士の交流を行っています。スペースが広すぎる場合は、遊びが分散できるようにコーナー作りを行っています。	在籍人数の多い親子グループでは、粗大遊びの部屋がやや狭く感じるため、内容を考えて行っています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	7	2	給食時などは必要なお子さんにはマンツーマンで関わられるよう工夫しています。職員がその場から離れる場面があるときは、声を掛け合うなどし、安全確保をしています。職員の休暇は、業務に支障のない中でとっていますが、十分な職員配置ができない場合は、プログラム内容を工夫したり、グループ同士の交流を行ったりし対応しています。	こどもの人数と支援者の対数は、基準よりも多くなっていますが、こどもの状態によっては、より人数が必要なこともあるため、安全に運営できる体制を構築することは課題です。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	6	0	子どもにわかりやすいように、一日の流れ、活動内容、部屋の色分けなど視覚提示しています。鍵のかかる戸棚を利用したり、衝立を利用したりして場面の転換が行われるようにしています。	設備として、手洗い場、トイレ、内線のない部屋があるので、使用時間等を調整して、無理なく使用できるようにしています。トイレまでの動線の確保や収納スペースの確保を行い、玩具等の整理整頓を行っています。チャイムの音が刺激になることがあるので、設備と調整しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	14	6	0	建物の老朽化はありますが、過ごしやすい環境になるよう工夫しながら行っています。	建物の改修は難しいので、危険な箇所への対応、清潔を心がけていきます。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	19	1	0	発熱時や体調不良時に過ごす部屋を用意しています。クールダウンが必要なときは、空いている部屋や衝立を使用し、落ち着ける場所を作っています。	部屋に限りはありますが、部屋の工夫を行い、対応できるようにしていきます。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	16	2	2	業務ごとに振り返りを行い、改善に努めています。	全ての職員が、意見を述べられるようし、職員間で周知できるようにすることが課題です。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	19	0	1	保護者向けの評価を年1回行い、次年度に向けた改善につなげています。	今後も年1回の評価を行い、業務改善につなげていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17	2	1	毎週定例で会議を実施し、連絡事項の周知や意見交換を行っています。	会議の議題を事前に提示し、意見を出しやすくし、活発な意見交換ができるようにしていきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	13	5	2	第三者による評価は行っていません。	第三者による評価を今後行っていくかの検討が必要です。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	20	0	0	外部・内部共に研修の場が設けられています。研修を受けた際は、会議で内容を周知しています。	研修の機会を設け、質の向上に努めることは今後も課題です。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	17	3	0	保育士中心でアセスメントを行い、グループ間で共有したうえで、児童発達支援計画を作成しています。	引き続き、保護者やこどもの意向を丁寧に聞き取り、児童発達支援計画の作成を行っています。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	19	1	0	グループ会議の中で支援方針など話し合い決定しています。必要に応じて、心理職・PTも計画立案の話し合いに参加しています。	チームアプローチの体制作りが課題です。
	14 児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	20	0	0	グループ間で共有し、日々の支援にあたっています。	引き続き、職員間で共有できるような時間等の確保を行っています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	6	0	日々の行動観察を行い、職員間で共有し、確認しています。	保育士のフォーマルなアセスメントについては、今後導入に向け、検討していくことが課題です。

	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	20	0	0	児童発達支援計画は、左記の領域に分けて作成し、支援内容も明記しています。	引き続き、児童発達支援計画は児童発達支援ガイドラインに則って作成し、保護者に丁寧に説明を行っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	18	2	0	子ども達の様子（成長）などにあわせて、日々の打ち合わせで振り返りを行い、プログラムの見直しを行っています。	多職種でのチームアプローチの体制づくり(相談できる体制)が課題です。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	20	0	0	ねらいに合わせて活動内容を取り入れています。園庭遊び、屋上遊び、公園に行く等、工夫をしています。打ち合わせで子ども達の様子に合わせて、検討することもあります。	活動プログラムが固定化しないよう工夫を行っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	18	2	0	メイン活動以外にも午前、支度後の遊び時間（室内遊び）で玩具を少なくすることで小集団で遊ぶ経験なども取り入れています。	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動の組み合わせを行い、支援が行えるようにしていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20	0	0	支援開始前には、打ち合わせを行い、支援内容や役割分担を確認し、支援を行っています。	事前の打ち合わせ、支援後の振り返りを毎日行うことは難しいこともありますが、今後も工夫をしながら、時間を確保し、次の支援につなげることは必要と考えています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	19	1	0	支援後には振り返りを行い、記録を行っています。その日入った専門職も振り返りに参加しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	20	0	0	日々の記録は必ずとるようにし、支援の振り返り、改善につなげるように努めています。	引き続き、支援の充実につながるような記録ができるよう努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18	1	1	半年に一回、保護者と一緒に行っています。	引き続き、保護者の方と児童発達支援計画の振り返りを行い、次の児童発達支援計画につなげていきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	2	3	担任（キーパーソン）が設定された会議に参加できるように職員配置の工夫を行っています。	相談支援事業所による連携の差はありますが、今後も担当者会議には出席できる体制を整えています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16	2	2	保健との連携はありませんが、他の機関とは連携を行い、支援を行っています。医療的ケアが必要な場合は、必ず医療機関と連携を行っています。	医療的ケア児以外で医療的なサポートが必要なこどもについては受診報告書や保護者からの情報提供のみで連携は行えていません。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20	0	0	併行利用への移行は、こどもの状況と保護者の意向からの支援を行っています。移行する際は、保護者を交えて所属園と会議(あんしんサポート会議)を行い、こどもの状況と保護者の意向を伝え、スムーズに園生活が送れるように支援を行っています。すでに併行利用している場合は、所属園と電話や訪問で連携をとり、支援内容等の情報を共有しています。	今後もインクルージョン推進の観点から、所属園との連携を図っていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18	1	1	小学校については、教育センター（まなびサポート）と連携を図り、情報共有しています。特別支援学校とは直接引き継ぎを行っています。	小学校への引き継ぎについては今後の課題です。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	17	2	1	児童発達支援事業者連絡協議会を年3回行い、連携を図っています。また、センターで行う研修会の案内を行い、研修の機会が増えるように取り組んでいます。千葉県通園施設連絡協議会に参加し、他施設との情報共有などを行っています。	他の児童発達支援事業所との連携は少ないと感じています。地域全体の質の向上については、児童発達支援センターの役割である中核的機能をどのように行っていくかを含めて検討を行っていくことは課題です。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	20	0	0	心理職やPTが定期的に療育に入っています。定期的に外部講師を招いて研修を行っています。外部研修は、支援体制を調整し、できるだけ参加できるようにしています。	今後も様々な研修の機会を設け、知識、技術の向上に努めています。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	13	1	6	センター内で担当職員を決め、出席しています。	公的機関の役割として、今後も会議等へ出席は行っています。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				非該当	非該当

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	25	0	5	単独通園での所属園のないこどもが隣接する保育園と交流を行っています。	交流の目的や方法をしっかり検討したうえで実施を行うことが課題です。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	17	2	1	親子通園では、こどもの変化などを伝え、こどもの成長の実感をもてるように取り組んでいます。単独通園の保護者には、面談や見学、電話などでこどもの発達状況や困っていることなどを共有し、助言を行っています。	就労をしている保護者が増え、面談の日程調整、見学、連絡が難しい場合があり、今後どのように保護者支援を行うかは課題です。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	18	0	2	センターで行うペアレント・トレーニング(対象は年少から、全6回のコースとオンライン講座)や医師による講演会の案内など情報提供を行っています。	今後も家族支援として、研修の機会をつくっていきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	18	1	1	契約時に重要事項説明で説明を行っています。	支援プログラムは配布しておりますが、詳しく説明は行っていないことが課題です。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	20	0	0	保護者には、保護者の意向を含めた面談用紙を記入していただき、支援計画作成前に聞き取りを行い、意向に沿った児童発達支援計画を作成するように努めています。	今後もこどもや家族の意向を丁寧に確認し、児童発達支援計画を作成します。こどもの意向を次年度から記載します。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	20	0	0	面談で意向を聞き取り、説明を行い、同意を得ています。	今後も面談で児童発達支援計画の説明を行います。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	19	1	0	年5回の面談や連絡ノートで、保護者からの相談について助言を行っています。面談や見学の時だけでなく、必要に応じて電話等での相談も行っています。	今後も相談に適切に応じ、助言や支援を行います。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	17	1	2	父母の会はありませんが、全体保護者会や家族通園を行い、保護者同士の交流の機会は設けています。家族通園の中で、きょうだい児も参加可能な場を設けています。	家族通園の中で、きょうだい児の参加の場は設けていますが、交流までにはいたっていません。また、親子通園の家族通園は行っていませんので、保護者の意見をとりいれながら参加について検討していく必要があります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	3	1	保護者からの相談の申し入れがあった場合は、早急に対応できるように体制を整えて対応を行っています。	他職種で支援してもらいたい要望に対して、対応が行えていない現状があります。今後も相談に適切に応じ、助言や支援を行います。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	19	0	1	「にじいろ通信」を発行し、情報を発信しています。	情報発信の場をアプリでも導入していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	18	1	1	個人情報の取り扱いについては、十分注意するように職員に注意喚起しています。	連絡ノートの入れ間違い等があるため、対策を検討していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	20	0	0	必要に応じて、様々な工夫を行っています。	情報伝達の幅を広げるため、来年度にアプリを導入予定です。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	12	3	現在、地域に対しての行事は行っていません。	地域に開かれた事業運営は課題も多く、十分検討を行う必要があると考えています。
非常時等の	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	19	0	1	バス乗車時の緊急対応マニュアル、感染症予防マニュアル、緊急避難マニュアルを作成し、訓練を実施しています。実施した内容は「にじいろ通信」で保護者に周知しています。	マニュアルの周知方法は今後の課題です。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	20	0	0	業務継続計画(BCP)は策定しています。避難訓練は毎月行っています。	業務継続計画(BCP)については、毎年見直しを行い、必要な訓練を行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	19	1	0	健康観察表を保護者の方に記入していただき、健康に関する状況を確認しています。バスには、てんかんなどの注意点を記載した名簿を職員が持ち、乗車しています。	既往歴については事前に把握し、年度のはじめから対策や体制がとれるようにしていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	18	0	2	弁当注文の際、アレルギーの有無を把握しています。アレルギーがある場合は医師の指示書に基づいて利用を進めています。	今後も保護者の協力のもと、アレルギーへの対応を行います。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	18	0	2	安全計画を作成し、研修や訓練を行っています。室内外の安全チェックリストで確認をし、改善が必要なところは改善を行っています。	日々、お子さんの安全が守られるように安全管理に取り組んでいきます。

対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	2	3	安全計画に基づいて行った内容は「にじいろ通信」で保護者に周知しています。また、家庭で気を付けてほしい内容を載せ、周知しています。	今後も安全については家庭とも連携をとりながら、取り組んでいくことは必要であると考えています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	19	1	0	ヒヤリハット、怪我などがあった場合は、会議で情報共有し、対策の検討を行っています。環境の整備が必要な場合は、早急に対応を行うようにしています。	打ち合わせ等で今後もヒヤリハットは職員で共有し、対策を検討します。ヒヤリハットを報告しやすい方法を検討します。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	20	0	0	虐待を防止するための研修を数回実施し、日々の支援の振り返りを行っています。	今後も研修会を行い、虐待防止に努めます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	18	1	1	やむを得ず身体拘束を行う場合は、どのような時かを周知しています。補助用具（座位保持椅子など）の使用にあたっては、児童発達支援計画に記載し、保護者の同意を得ています。今までに、やむを得ない身体拘束はありません。	今後も身体拘束予防についての研修を行い、不適切な支援にならないように努めます。

※未記入の設問については、『無回答』として集計しています。